

筑波大学理療科教員養成施設紀要

第8巻 第1号

教育 研究 臨床

2023年3月

筑波大学理療科教員養成施設
Acupuncture and Physical Therapy
Teacher Training School

筑波大学理療科教員養成施設紀要

2023年3月31日発行 第8巻・第1号

目 次

【巻頭言】

節目の年に

和田恒彦 …………… 1

【原 著】

全盲者、弱視者、晴眼者を対象とした連続打鍵の速さおよび精度に関する検討

沖中美世乃、和田恒彦 …………… 5

【報 告】

視覚障害教育機関の理療科教員対象公開講座の開催ニーズに関する調査

工藤滋 …………… 15

超音波診断装置を用いた低周波鍼通電時における筋収縮動態の観察

—自動運動、1Hz通電、20Hz通電の起始部、筋腹部、筋腱移行部の比較—

川崎公大、沖中美世乃、和田恒彦 …………… 21

運動器を対象とした鍼療法における超音波診断装置を活用した研究に対する文献的検討

和田恒彦、沖中美世乃、川崎公大 …………… 29

【症例報告】

肩関節の可動域制限に烏口腕筋に対する鍼通電療法が奏功した1症例

—移行する関連痛への対処—

小峰律子、徳竹忠司 …………… 41

【資 料】

視覚特別支援学校におけるSDGsの認知度調査

秋葉玲希、中西孝幸、木下歩 他 …………… 51

視覚障害者がSDGsボードゲームを操作する時の困難事項の抽出とその対策の検討

秋葉玲希、中西孝幸、木下歩 他 …………… 61

視覚障害教育の現状と課題

—令和4年度全国盲学校長会調査—

山岸直人、和田恒彦 …………… 71

【その他】

寄宿舎の記憶

徳竹忠司 …………… 75

【活動報告】

筑波大学理療科教員養成施設活動報告（令和4年度）

和田恒彦 …………… 77

理療科教員養成施設入学者状況等

徳竹忠司 …………… 83

編集規定・執筆規定

…………… 85

編集後記

徳竹忠司 …………… 89

筑波大学理療科教員養成施設紀要 編集規定

(2021年12月)

1. 筑波大学理療科教員養成施設（以下「理療科」）は教育・研究に係わる雑誌を発行する。
雑誌の名称は「筑波大学理療科教員養成施設紀要」（以下「紀要」）とする。
2. 本誌は理療の教育・研究・臨床に関する価値ある論文で、国内外の他雑誌に掲載されていない、或いは現在投稿中でない論文を掲載する。
3. 本誌は原則として、年1回発行する。
4. 紀要掲載文の区分は以下の通りとする。
 - 1) 原著論文（査読有り）
 - (1) 理療教育、視覚障害教育に関する研究論文
 - (2) あん摩マッサージ指圧、鍼、灸を含む物理療法に関する基礎研究及び臨床研究論文
 - 2) 総説
 - (1) 視覚障害教育の主張及びあはき基礎・臨床研究・レビュー
 - 3) 報告
 - (1) 理療及び視覚障害教育実践報告
 - (2) あはき症例報告
 - (3) 理療臨床部活動報告
 - 4) 資料
 - (1) 卒業生進路状況
 - (2) 求人、就職状況
 - 5) その他
 - (1) 論説
5. 投稿文章は別に定める執筆規定に従い執筆する。
6. 紀要の編集及び投稿論文の審査をするために紀要編集委員会をおく。
しかし論文の内容により外部に査読を依頼することがある。
論文の採否は、原則として本会が決定する。
7. 投稿文章の筆頭者は、理療科に関わりがあると本会が認めた者とする。
8. 著作権は本会に帰属する。
9. 原稿は原則として返却しない。
10. 本紀要は医学中央雑誌および、つくばリポジトリに掲載される。

筑波大学理療科教員養成施設紀要 執筆規定

(2021年12月)

1. 原稿の構成

・原稿の区分に限らず本文は10,000字以内（英文原著では4,500語以内）、和文抄録は500字以内、英文抄録は300語以内、キーワードは5個以内、引用文献は30編以内、写真・図・表は計10個以内とする。

・原稿は和文または英文とする。

1) 原著論文、総説、報告

(1) 表紙（論文タイトル、著者名、所属機関名）、要旨、キーワード（3～5）、本文、倫理委員会による承認に関する記載、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

(2) 図・表は白黒で作成し番号を付けること。

(3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …で記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付けること。

2) 資料、その他

(1) 表紙（タイトル、著者名、所属機関名）、本文、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

(2) 図・表は白黒で作成し番号を付けること。

(3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …上付きで記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付けること。

2. 用紙・書式

1) 用紙はA4サイズで横書きとすること。原稿はワープロまたはパソコンを用い、12ポイント/ゴシック体で、本文は40文字×40行で作成のこと。

2) 項目の階層は以下の通りとする。

I, II, III …, 1, 2, 3 …, 1), 2), 3) …, ①, ②, ③ …,
a, b, c …, (a), (b), (c) …

3. 用語・単位

1) 和文は、口語体、当用漢字、新かなづかい、ひらがなまじりを用い、句読点・かっちは1字と扱う。外国語、外国人名、地名、機器名は原語のまま用いる。ただし一般に日本語化している外国語はカタカナを用いてもよい。

2) 度量衡の単位は、mm, cm, ml, dl, l, ng, μg, mg, g, kgと記す。

3) 年号は西暦とする。

4) 数字はアラビア数字を用いる。

5) 数字・英字は全て半角とする。

4. 文献

文献は引用文献に限定し、表記はバンクーバースタイルとする。

1) 雑誌中の論文の場合

引用番号) (本文中の引用順とする) 著者名 (著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする。人名の間は「,」で区切る)。論文タイトル (副題も含め全て記載する)。掲載誌名 (正式略名とする)。発行年 (西暦で記載する); 巻 (号): 起始頁 - 最終頁 (最終ページは起始頁と同一桁に同一数字がある場合は省略する)。

記載例 1) 筑波一郎, 文京太郎, 東京二郎, ほか. 身体調整の運動と意義 —鍼灸・マッサージと運動の科学—. 体育の科学. 2011;61(10):752-8.

2) Naruto Yoshida, Naoyuki Kobayashi, Akihiko Masunari, et al. Changes in the muscle reaction time of ankle periarticular muscles by balance training. J Phys Fitness Sports Med. 2013;2(4):493-500.

2) 書籍の場合

引用番号) (本文中の引用順とする) 著者名 (著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする): 表題. 書名. 編者名 (編者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする). 版数. 発行者 (社). 発行地. 発行年 (西暦): 起始頁-最終頁.

例) 徳竹忠司, 佐々木皓平, 林健太郎. 医療と社会. 改訂第5版. 医道の日本社. 東京. 2022:105-19.

3) ウェブページの場合

作成者名. サイト名. URL (取得年月)

例) 厚生労働省. 令和2年 国民生活基礎調査の概況.

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa13/> (2014年8月取得)

4) 私信、未刊行物、投稿中の文献の場合

リストに入れず、本文中で説明するか、または脚注として示す。ただし、印刷中のものは文献欄に上記の引用方法で記載し、末尾に (印刷中、英文の場合はin press) と記載する。

5. 提出物の仕様

1) 投稿表 (本紀要の巻末に付録 本施設HPよりダウンロード)

(1) 筑波大学理療科教員養成施設紀要に投稿します。

(2) 年月日・タイトル・筆頭執筆者名・筆頭執筆者連絡先 (住所・電話番号・E-mailアドレス)

2) 印刷物 (2部)

「1. 原稿の構成」に従い作成した印刷物

3) データ

「1. 原稿の構成」に従い作成したデータを、文章はワードを、図・表はパワーポイント、エクセルを用いて保存したCDまたはe-mail添付ファイル。

6. 利益相反 (Conflict of Interest : COI)

利益相反に関係する事項は、その有無を本文の最後に開示すること。利益相反がある場合は、その内容 (物品・資金の提供など) を記載すること。

記載例

- ・ 該当しない場合
「利益相反に関する開示事項はありません。」
- ・ 該当する場合
「利益相反に関する事項を開示します。(企業名) から物品名・金額」

7. 原稿送付先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学理療科教員養成施設内
紀要編集委員会 (担当 徳竹忠司)

TEL : 03-3942-6303

FAX : 03-3942-6335

e-mail : tokutaketadashi@icloud.com

編集後記

少しずつ新型コロナウイルス感染症に対する危機意識が変化しつつあります。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の定める5類として扱われる事になりました。様々な機関で「3密」対策の影響を受け、実験・臨床活動等において、実施方法に制限が加えられていましたが、新年度からは「コロナ禍前」の状態に戻れる？と期待は膨らみます。

本紀要の一コーナーに症例報告が有ります。丁寧な面接・身体診察により得られた情報と、先行研究等の学習から得られた知識に基づき評価された患者の状態を提示し、正確な治療技術を提供した結果の情報を他者に提供する。この情報が更に先行研究として後継者に影響を与える。症例報告に単純とか簡単な症例というものはないと思います。しっかりした情報提供ができれば、必ず他者の参考になるはずであると思います。

症例報告もお待ちしております。

8巻担当 徳竹忠司

筑波大学理療科教員養成施設紀要 第8巻1号

2023年3月31日発行

編集 筑波大学理療科教員養成施設紀要編集委員会
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
TEL : 03-3942-6303 FAX : 03-3942-6335

発行 筑波大学理療科教員養成施設

印刷 株式会社洋文社

投稿表

筑波大学理療科教員養成施設紀要に投稿します。

提出日 令和 年 月 日

タイトル

原稿区分 原著・総説・報告・その他 ()

筆頭執筆者 氏名：

所属：

筆頭者連絡先 住所

電話

E-mail

紀要編集委員会記入欄

受付年月日 令和 年 月 日

受付番号

目 次

【巻頭言】

節目の年に

和田恒彦 …………… 1

【原 著】

全盲者、弱視者、晴眼者を対象とした連続打鍵の速さおよび精度に関する検討

沖中美世乃、和田恒彦 …………… 5

【報 告】

視覚障害教育機関の理療科教員対象公開講座の開催二一ズに関する調査

工藤滋 …………… 15

超音波診断装置を用いた低周波鍼通電時における筋収縮動態の観察

—自動運動、1Hz通電、20Hz通電の起始部、筋腹部、筋腱移行部の比較—

川崎公大、沖中美世乃、和田恒彦 …………… 21

運動器を対象とした鍼療法における超音波診断装置を活用した研究に対する文献的検討

和田恒彦、沖中美世乃、川崎公大 …………… 29

【症例報告】

肩関節の可動域制限に烏口腕筋に対する鍼通電療法が奏功した1症例

—移行する関連痛への対処—

小峰律子、徳竹忠司 …………… 41

【資 料】

視覚特別支援学校におけるSDGsの認知度調査

秋葉玲希、中西孝幸、木下歩 他 …………… 51

視覚障害者がSDGsボードゲームを操作する時の困難事項の抽出とその対策の検討

秋葉玲希、中西孝幸、木下歩 他 …………… 61

視覚障害教育の現状と課題

—令和4年度全国盲学校長会調査—

山岸直人、和田恒彦 …………… 71

【その他】

寄宿舎の記憶

徳竹忠司 …………… 75

【活動報告】

筑波大学理療科教員養成施設活動報告（令和4年度）

和田恒彦 …………… 77

理療科教員養成施設入学者状況等

徳竹忠司 …………… 83

編集規定・執筆規定

…………… 85

編集後記

徳竹忠司 …………… 89